

一般質問(要旨)

沖縄便就航の取り組みは  
航空会社に旅客需要などを伝え  
路線開設を要請

狩野岳也議員(自民) 沖縄県経済への支援などに沖縄便就航が重要。唯一のLCC対応である茨城空港とLCC航空会社だからこそ安く沖縄に飛ばすことができる。今後の取り組みは。

設を強く要請していく。議員 AED※は公共施設などへの設置が進んでいると言うが、数は少なく場所も知られていない。配置推進の重要性は。知事 県独自の登録制度を設け設置場所の地図情報を作成・公表している。今後は施設の敷地入口に案内を表示するなど場所がより認識できるように取り組む。重要性は十分認識しているので設置推進と利用促進に努める。



沖縄便の開設が期待されるスカイマーク

(ほかに、県民共助活動の条例化、国家・国益の県民への周知なども質問)

茨城港常陸那珂港区中央埠頭地区の整備は  
平成二十四年度から  
新規着手されるよう国に働きかけていく

鈴木定幸議員(自民)

出荷が好調な建設機械などの輸出増加に対応するため、茨城港常陸那珂港区中央埠頭地区の十二メートル岸壁を早期に整備する必要があるのではないか。

土木部長 建設機械は、大幅な輸出増加が見込まれており、企業の国際競争力を強化するためにも大水深岸壁の整備は喫緊の課題である。平成二十四年度から新規着手される

よう国へ働きかけていく。

議員 臨床研修医の受入による医師確保は重要である。研修医と研修病院のマッチング率向上のため、どう取り組むのか。

保健福祉部長 病院や医師会と連携し、情報発信や研修プログラムの充実などに取り組んでいる。今後はマッチング率の低い病院の底上げにも資するよう、医学生や研修医に対するきめ細やかなサポートに努めていく。



建設機械などの出荷が好調な茨城港常陸那珂港区

(ほかに、TPPへの対応、教科書採択にあたっての指導・助言・援助なども質問)

被災地としての茨城県の位置付けは  
東北三県と同様の支援を  
国に働きかけていく

八島功男議員(公明) 国の復興基本方針などで東北地方に限定した言及が見られるが、被災地としての本県と東北三県の位置付けをどう考えるか。

知事 本県は東北三県に次ぐ被災県だが、国の復興・復興対策などは東北三県を中心と考えられがちであるので、本県も東北三県と同様の支援を受けられるよう引き続き強く国に働きかける。

議員 官製談合防止のため、入札制度を見直すべきである。例えば、過去の入札記録を分析し、談合の可能性を段階的に注視喚起する不規則入札アラートシステムの構築が必要ではないか。



液化化の被害を受けた住宅街(潮来市)

土木部長 入札制度の透明性、競争性などの向上を目指し、入札制度全般にわたって検証を行う中で提案のシステムなどについても研究していく。

県地域防災計画の改定は  
アンケート調査結果を反映させ  
実行性のあるものにする

伊沢勝徳議員(自民) 過去に例のない規模で県民アンケート調査を行っているが、地域防災計画をどのような点に留意し改定するのか。また、今後のスケジュールは。

知事 アンケート結果を反映させた実行性のある計画、津波対策の強化、概要版の作成などに留意し、専門家などの助言を受けると、年度内を目途に改定を進める。

議員 原子力は、「正しい理解」と「正しく恐れる」ことが重要。発達段階に応じて原子力に対する正しい理解を深めるため、また、県民の過度な不安を払拭するため、今後の原子力教育は。



津波被害を受けた大津漁港(北茨城市)

(ほかに、東日本大震災を教訓とした防災訓練、県道藤沢荒川沖線バイパスの整備、国体の開催なども質問)

東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会  
公共基盤施設の復旧見通しや原子力安全体制等について審議

本委員会(磯崎久喜雄委員長)は、七月十一日、震災で甚大な被害を受けた港湾や漁港などの状況について現地調査を実施しました。那珂湊漁港では、漁業協同組合や水産加工工業協同組合など地元関係者との意見交換も行いました。

七月二十日の委員会では、放射線の監視体制や水道水への影響、学校・教育施設における対応などについて説明聴取を行いました。

また、九月一日には、放射線などに係る対応や本県の原子力安全体制について説明を聴取するとともに、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構から、安全対策などについて意見聴取を行いました。

さらに、十月三日には、道路や港湾、学校などの完全復旧の見通し、商工業、農林水産業の復興に向けた施策展開について審議を行いました。



現地調査で被災状況の説明を受ける委員(茨城港常陸那珂港区)

ことば ※【AED】…自動体外式除細動器。心室細動(心臓が細かく震えて血液を全身に送ることができない状態)を自動判断し、電気ショックを与えて蘇生する機器。音声ガイダンスで誰でも使用して救命できる。